

達成度：R7.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

経済環境課の目標（令和6年度）自己評価書

経済環境課長 殿城 元康

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
1 良好な生活環境と自然環境の保持（環境対策室） ①一般廃棄物のうち、プラスチックごみの再資源化について検討します。 ②生活環境と自然環境の保持のため、埋め立て等事業、太陽光発電施設の設置等について、適正な指導と監視を実施します。 ③地域猫活動の支援を継続し、野良猫の増殖抑制を図ります。 ④畜犬の適正な管理と狂犬病予防注射の接種啓発を継続します。 ⑤空き地に繁茂する雑草の適正な管理について指導啓発を継続します。 ⑥脱炭素社会の実現に向けて酒々井町地球温暖化対策実行計画を推進します。	3 4 4 3 3 3	①一般廃棄物処理基本計画の改定及び実施計画の策定を行い、プラスチックごみについて計画を立て、今後の処理について目標を定めました。 ②埋め立て事業については、条例に基づき適正に事務を遂行出来ました。また、太陽光発電施設の設置等についても、景観条例や設置に伴うガイドラインにより適正に事務を行いました。 ③関係団体と連携を密にし、増殖抑制を行い、譲渡や去勢に於いて補助金を交付しました。 ④広報誌及びホームページを活用し、予防注射の接種啓発を行いました。 ⑤条例に基づき、繁茂状況のパトロール及び除去の通知を行いました。 ⑥実行計画に基づき、エネルギー管理や節電を行い計画の推進に努めました。

2 農業の振興と連携の強化（農政振興班） ①農村（集落）環境の整備と農地保全 国営印旛沼二期土地改良事業の推進と農村環境の向上対策である多面的機能支払制度の推進に努めます。 ②農業担い手の確保 農業従事者の高齢化に伴い次代を担う農業者を確保するため、農業次世代人材投資資金や町農業担い手育成支援補助金を活用し農業の担い手の確保、育成に努めます。 3 商工業の振興（商工振興班） ①企業誘致の推進 町・県の企業立地優遇制度を活用できるように、工業団地で未利用となっている土地所有者に対し、事業化の働きかけを行い、早期の事業化へ向けた取り組みを支援します。 ②産業用地の調査 酒々井 IC の開業により町内産業用地の企業ニーズが高まり、酒々井南部地区新産業団地と墨工業団地は、ほぼ土地利用が図られている状況から、第 6 次総合計画で産業系ゾーンに位置づけられた上岩橋地先の土地について、産業用地可能性調査の事前調査として、地権者に対し営農意向調査を実施します。	4 4 3 4	①国営印旛沼二期土地改良事業について、国、県、印旛沼土地改良区及び関係市町と協議を行いました。 多面的機能支払制度については、根古谷地区において、引き続き推進に努めました。 ②農業の担い手の確保、育成のため、農業次世代人材投資資金を令和 3 年度採択した認定新規就農者 1 名に 1, 3 5 0 千円、町農業担い手育成支援補助金を 5 名に 1, 4 6 3 千円交付しました。 ①土地所有者と連絡を取り合い、事業化に向けた進捗状況を確認しました。 ②第 6 次総合計画で産業系ゾーンに位置づけられた一部の土地所有者に対し営農意向調査を実施しました。
--	-------------------------------------	---